

## 津波防災啓発「犠牲者“ゼロ”をめざして」保護者アンケートより

先日お願いしました津波防災啓発「犠牲者“ゼロ”をめざして」の保護者アンケートでは、130名の方々のご協力いただきました。ありがとうございました。

アンケート結果は、下記の通りです。まだ、子どもたちが学校以外にいる時に大震災が発生した場合、どこに逃げることになっているかを決めていない家庭が25%程あるようです。避難場所について、各家庭で話し合っておいてください。

なお、楠見地区の高い所ということで、“大谷古墳”を避難場所に考えている家庭もあるようですが、大谷古墳には**断層**があり大震災の時は危険であると聞いております。その話を聞いてから、小学校では津波が発生した場合は、目良団地を登り**楠見中学校へ避難**するようにしております。今後も、各家庭で津波防災について話し合ってください、災害に備えていただきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

### 記

1. 放送やDVD以外に片田教授の講演会に参加したことがありますか。
  - I 参加したことがある 【1】
  - II 参加したことがない【129】
2. 地震発生時の避難場所について、親子で話し合ったことがありますか。
  - I 話し合ったことがある【112】
  - II 話し合ったことがない【17】
3. 子どもが学校にいるときに大地震が発生した場合、子どもはどこに逃げるかご存知ですか。（避難場所は**楠見中学校**です。大谷古墳が40数名いました。）
  - I 知っている【112】
  - II 知らない【16】
4. 子どもが登下校時や外で遊んでいるときに大地震が発生した場合、子どもはどこに逃げることになっていますか。
  - I 自宅 【20】
  - II 避難場所 【77】
  - III 決めていない【33】
5. 放送を見て感じたこと。（複数回答あり）
  - I 「津波てんでんこ」や「津波避難3原則」を理解することができた。【50】
  - II 家庭で避難方法について、話し合いが必要であると思った。【84】
  - III その他 【19】
    - ・生きてさえいればまた会える。まず、自分の命は自分で守ることが大切だ。
    - ・漠然とした不安を抱えていたが、まず何をすべきかがよく分かった。
    - ・生死はその時の判断が左右されるので、“避難3原則”と“津波てんでんこ”という言葉を忘ずに生活していきたい。